

◇各教科等の授業改善に向けた具体的な方策

【美術】

<p>■生徒の状況</p>	<p>(1) 美術が好きで意欲的な生徒が多い。</p> <p>(2) 知識や技能はあるが、発想や構想で躓いて制作に進めない生徒がいる。</p> <p>(3) 作品を鑑賞し、作品の特徴や作風から作品の良さや作者の考えを読み取り考える能力が身に付いている生徒が多い。また、クラスメイトの意見を聞いて考え方を広げたり、深めたりできる生徒も多い。</p> <p>(4) 学習の振り返りを記入し自己評価できる生徒は多いが、振り返りから制作の工夫を広げたり計画を立てたりすることが苦手な生徒がいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>(1) 生徒の状況や制作時間、材料や美術室の導線などを把握し、めあてに向かって主体的に生徒が課題解決に取り組むことができる適切な題材開発をすること。</p> <p>(2) 感染症拡大防止に配慮しながら生徒同士の意見交換やアイデアの出し合い、作品鑑賞ができるよう工夫すること。</p> <p>(3) 生徒の感性を引き出す声かけを行いながら制作や鑑賞時の課程を見取り評価につなげていくこと。</p> <p>(4) 分かりやすいめあてとまとめを提示し、生徒に見通しをもたせ、指導と評価の一体化を図りより深い学びにつなげていくこと。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>1 基礎学力の定着</p> <p>(1) 課題への知識、理解を深めるよう適切な分析・考慮を心がける。</p> <p>(2) 全体での理解度を向上させるとともに、机間指導など個別指導に時間をかける。</p> <p>2 1を支える家庭学習の推進</p> <p>3 授業における思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>(1) 色彩、構成、技法など、表現するために必要な知識を身に付ける。</p> <p>(2) 作品完成時のイメージや表現したいことを考え、それに沿った技能や工夫を考察する。</p> <p>(3) 全体の流れやめあてを確認し見通しをもち、工夫して制作に取り組む。</p> <p>(4) 制作のイメージや自分の考えを言語で表現することによって、より深い表現力を身に付ける。</p> <p>4 3を自ら伸ばしていくための主体性の育成</p> <p>(1) 題材ごとに、授業計画や授業の目標、評価についてガイダンスを行う。</p> <p>(2) 毎時間本時のめあてを提示し、授業終わりには自己評価シートを用い、授業の反省と振り返りを行い、次時の計画を立てる。</p> <p>(3) 机間巡視を通じてヒントなどを与えながら生徒の感性を引き出す声かけを行い、生徒自身が思考し工夫しながら制作できる力を養う。</p> <p>5 ICT機器を活用した授業実践例</p> <p>(1) 生徒の思考力・判断力・表現力・主体性の育成を図るために、書画カメラやデジタル教科書、電子黒板等のICT機器を積極的に活用していく。</p> <p>(2) 写真、映像作品制作などメディアデザインを用いた題材開発をしていく。</p> <p>6 小中連携</p> <p>(1) 文化発表会や授業等で、小学校・特別支援学校との作品交流を行い、作品鑑賞から「見て考える力」を向上させる。</p>